

授 業 科目名	【Gカリキュラム】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ ※本年度は開講せず 【EFカリキュラム】 法学政治学演習Ⅰ・Ⅱ	選択履修	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）／【EF】教科及び教科の指導法に関する科目（-・-・-・-）					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目 【EF】教員の免許状取得のための（-・-・-・-）科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	知的財産権法の基礎知識		担当者	柳澤 眞実子		
授業概要	<p>【概要】</p> <p>知的財産権法は多岐の分野にわたる法律です。本演習では、このような法律を3年生で学ぶ以前に、その基礎知識として知的財産権法の体系について学びます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>知的財産権に関連する諸法の概略を理解すること。</p>					
履修条件	本演習の合格者のみ。 また事前連絡なく、3回の無断欠席をした場合、いかなる理由があっても単位は出しません。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】</p> <p>指定しません。</p> <p>【参考書】</p> <p>茶園成樹『知的財産権法入門』（有斐閣、2013年）</p>					
授業回数	授業内容					
授業内容	前期は知的財産権法の入門として数回、講義をします。その後は、民事事件に関する判例を読み、判例研究について修得を目指します。後期は知的財産権関係の判例を少しずつ読み、報告をしてもらいます。					
予習 復習 内容	判例研究が中心となりますので、毎回指定された判例を読み、報告担当者は事実の概要、判旨をレジюмеにまとめてきてください。報告が終わった判例は各自、論点を整理しておいてください。					
評価方法	報告の内容について評価します。					
評価基準	報告内容がよく考察され、レジюмеの完成度が高いと認められる場合にはA評価、報告内容が全般にわたって考察され、レジюмеも全体的にまとまっていると認められる場合にはB評価、報告内容が報告として必要事項を満たし、レジюмеも丁寧に作成されていると認められる場合にはC評価、報告が必要事項を満たしておらず、レジюмеも作成できていないと認められない場合には、その程度に応じてD評価またはE評価とします。					
その他	特になし ※G 刈：法【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 刈※【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 情【Ⅰは選択必修（A）・Ⅱは選択必修（B）】 / EF 刈：法【選択必修（γ）】 刈※【選択必修（γ）】 経【選択必修（γ）】					